

# 「がん相談センターこうち」 について

平成23年3月4日

高知県 健康政策部 健康対策課

## 「がん相談センターこうち」設置までの経緯

- ✦ 高知県がん対策推進条例（平成19年3月）の制定に向けた準備段階
  - ⇒公平で誰もが相談しやすい、拠点病院と連携した相談窓口整備を求める患者会の「声」
  - ⇒相談窓口整備を条例に明記
  - 第7条（がん患者等への支援）  
**相談窓口の整備**等による相談支援の推進

↳ 「がん相談センターこうち」（開設H19.10）

- ✦ その後、平成20年3月 高知県がん対策推進計画を策定
  - 3つの基本方針
    - 1) がんの予防と早期発見・早期治療の推進
    - 2) 高度ながん医療と切れ目のない医療の実現
    - 3) 患者にとってよりよいがん対策の推進
  - 2つの全体目標
    - 1) 10年以内に75歳未満のがん年齢調整死亡率を20%減少
    - 2) がん患者、その家族及び遺族の満足度の向上



2007年10月15日  
がん相談センターこうち設立



**土佐あまのり**  
連載「続」と尋ねると「ない」。  
「生命の重さ」これが現状だ。  
別の医師に意見を求め、患者のセカンドオピニオンという方法もある。や家族がいかに大きな不安を抱き、「生命」と向かい合っているかを痛感している。

先日、取材の一環で県内のがん患者らで組織する「専会」の定例会を訪れた。「患者は医師から説明されても『ほかに治療法があるのでは!』と思う。その不安を共有する場が欲しかった」と安岡祐利子会長が設立の趣旨を説明してくれた。もともとだと思っ

**患者が主役**

会ではメンバーが疾患部位別に「〇〇病の△△医師はしっかり説明してくれるし、話を耳を傾けてくれる」と情報交換する。ただ、この場以外に情報源は?

(地報部・安岡(司)

「専会」の定例会を訪れた。「患者は医師から説明されても『ほかに治療法があるのでは!』と思う。その不安を共有する場が欲しかった」と安岡祐利子会長が設立の趣旨を説明してくれた。もともとだと思っ

「生命」と向かい合っているかを痛感している。

先日、取材の一環で県内のがん患者らで組織する「専会」の定例会を訪れた。「患者は医師から説明されても『ほかに治療法があるのでは!』と思う。その不安を共有する場が欲しかった」と安岡祐利子会長が設立の趣旨を説明してくれた。もともとだと思っ

「生命」と向かい合っているかを痛感している。

先日、取材の一環で県内のがん患者らで組織する「専会」の定例会を訪れた。「患者は医師から説明されても『ほかに治療法があるのでは!』と思う。その不安を共有する場が欲しかった」と安岡祐利子会長が設立の趣旨を説明してくれた。もともとだと思っ



2007年10月15日  
がん相談センターこうち設立

